

【プリンターと紙選び】

ペーパークラフトのキットデータ (PDFファイル) をダウンロードしたら、
いよいよプリンターで印刷です。

ここではその「プリンターと紙選び」についてご説明します。

●プリンター

■「インクジェットプリンター」がおすすめ

「レーザープリンター」は紙の表面にトナーと呼ばれる粉を付着させる印刷方式なので、紙を折ったり切ったりすると、粉が削り落ちて、手からクラフトに汚れがうつり、きれいに仕上げるのが難しくなります。その点「インクジェットプリンター」はインクを紙にしみ込ませる方式で、その心配がなくおすすめです。ただし、インクが水溶性なため、印刷面をぬれた手で触れたり、唾を飛ばしてしまうと色がにじんでしまうので、作る際には、気を付けてお楽しみ下さい。

●紙選び

※コピー用紙で印刷して、うまく作れなかったことはありませんか？
それは紙が薄過ぎて、のりの水分で形が崩れてしまうからです。

■厚口の「プリンター用紙」がおすすめ (※インクジェット対応紙)

プリンター用紙の中でも、厚口と表記された「フォトマット紙」や「フォト光沢紙」などがおすすめです。メーカーによっては「ペーパークラフト用」と表示されているものもあります。これらは、家電量販店や事務文房具店などのプリンター用紙売り場またはネット通販で購入できます。

※印刷の際は、プリンター用紙にある印刷設定に合わせましょう。
厚口は紙づまりを起こしやすいので、手差し印刷がおすすめです。

■マーメイド紙 (水彩紙)

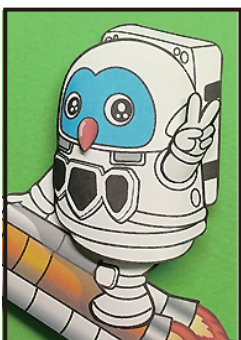
マーメイド紙のような洋紙は、紙の表面に凸凹の風合いがあり、味のある仕上がりになります。画材店やネット通販で購入可能です。
※印刷設定は「普通紙」で手差し印刷がおすすめ。

〈プリンター用紙の一例〉



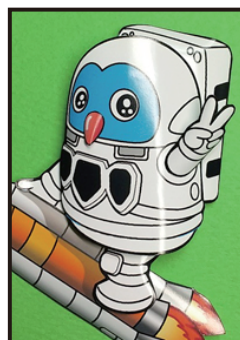
●紙の違いと特徴

※印刷する紙によって、作りやすさや仕上がりに違いがあります。それぞれの特徴をご紹介します。



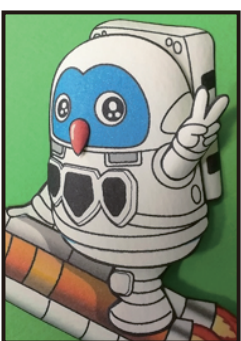
●マット紙タイプ

色の発色は沈んだ感じです。「のり」の付きや「組み立て」がしやすく、気軽に作れる紙で、普段使いにおすすめです。



●光沢紙タイプ

ツヤがあり、色の発色が鮮やかです。折り曲げ部分や切り口に細かい粉が多少出ます。表面に傷がつかないように丁寧に扱う必要があります。上達してからがおすすめです。



●マーメイド紙タイプ

マット紙タイプと同様の沈んだ発色ですが、凸凹の風合いが温かみを感じさせる仕上がりに。紙を購入の際は、「紙目」が重要になります。簡単に見分ける方法は、右図の矢印の向きに、曲げやすい紙を選びましょう。

A4 縦位置での向きです。

